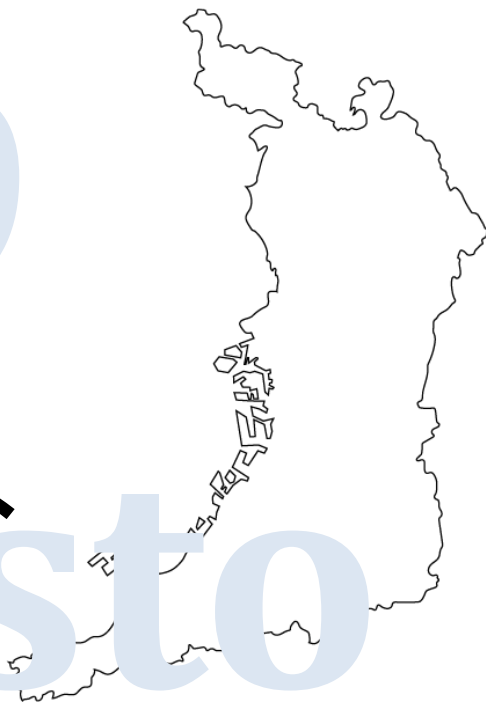


2019

大阪維新の会

守口市マニフェスト

Manifesto



大阪維新の会 マニフェスト2019

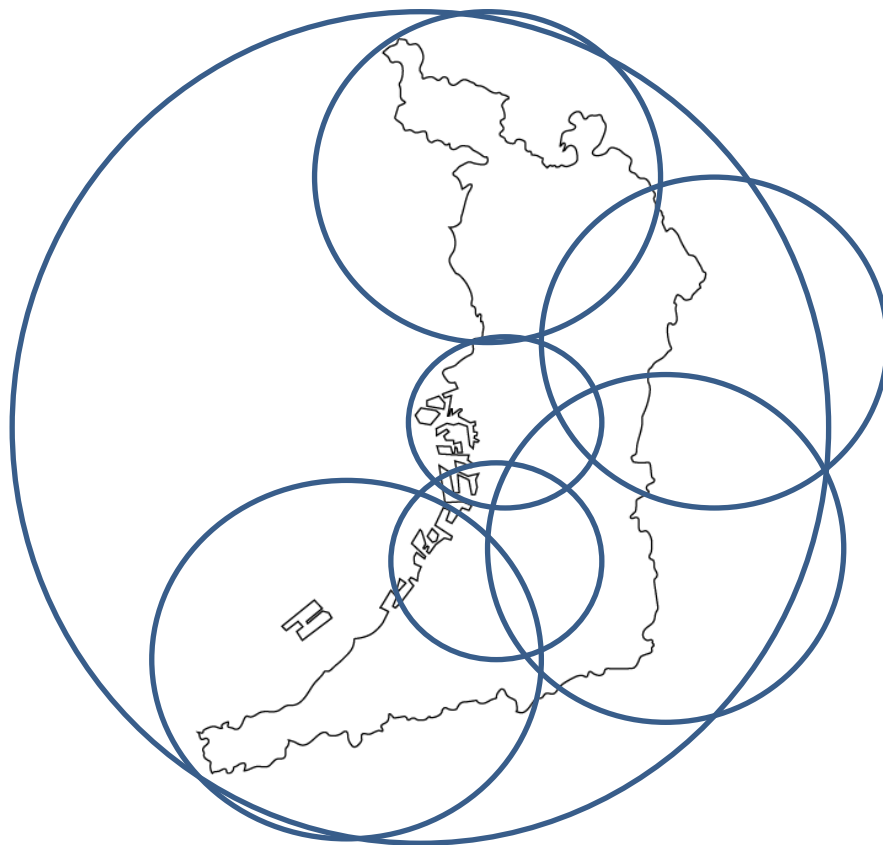
大阪府域全体の広域戦略を進めるとともに、
府内各自治体、及び中広域ブロックから総合的に施策立案を展開していく

府内各市町村版

大阪府域版

大阪市域版

堺市域版



北摂ブロック版

北河内ブロック版

中・南河内ブロック版

泉州ブロック版

項目	具体的施策	現状・課題認識
市役所改革	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が出資出損する団体の解散を見据えた見直し 	<p>本市が出資、出損する団体については、定年後の市職員が再就職が、市民からは、天下りや天下りとみられる行為と見られてしまう。またその出資金についても不明瞭な点が見受けられる。またそれらの団体の存在意義が、民間に十分委ねられるものである。</p>
幼児教育・保育	<p>小規模事業所、保育所、幼稚園、こども園の新規参入を認め、待機児童0を目指す。 (ただし、希望する園のみの申し込みによる待機を除く)</p>	<p>平成29年度から始まった、幼児教育・保育の無償化にともない、ニーズが拡大すると共に待機児童も一定数増加している。この待機児童の解消を行わない事には、全国初と言われるこの施策の意味が無くなってしまう。</p>
交通対策	<p>大阪モノレール門真市駅と新設予定の門真南駅の間際に新駅を誘致</p>	<p>民間コミュニティバスの減便や廃止により、市内に公共交通の空白地域が出始めている。そんな中、大阪モノレールの延伸が決まり、既存駅の門真市駅と延伸により新設予定の門真南駅の間駅をつくる事によって、その解消が図られるものである。</p>
議会改革	<ul style="list-style-type: none"> ・議会のICT化 ①ペーパーレス化の為にタブレットの導入 ②委員会のインターネット中継開始 	<p>本会議や委員会を終えると紙の書類が山積みとなる。今期も大阪維新の会守口市議会議員団として訴えてきたペーパーレス化やインターネット中継についてやっと話し合われる場ができたが、実際何も実現されなかった。本議会において引き続きこの議会のICT化を訴えて、実現していく。</p>

項目	具体的施策	現状・課題認識
身を切る改革	議員定数の削減（22人→21人）を議員提出議案として上程し、議会で過半数の賛成者を得て、この議案を可決させる。	議員定数は、議員自らしか変えることが出来ないものである。それだけその数については、絶えず議員間で話し合う必要がある。現在の議員定数22名が、我が会派では多いと考える。
子どもの貧困対策	まずは各中学校区に1つ、民間の力で子ども食堂をつくる。	子どもの貧困対策として、子ども食堂が各所で行われるようになった。この子ども食堂は、単なる貧困対策という側面だけでなく、子どもが真剣に大人と向き合う機会をつくる、子どもの居場所作りという点でも、大変有効なものであると考える。また地域でこれが広がれば、幅広い年齢間での交流が出来、更なる地域の繋がりが出来る。

項目	具体的施策	現状・課題認識
市役所制度改革	<p>生活保護費不適正化の為の様々な施策の強化</p> <ul style="list-style-type: none">・市の生活保護担当医、担当医院、担当薬局をつくる・悪質な事案に対する厳正な対応・年1回必ず再審査をする・生活保護適正化チームの強化・課税調査の徹底・国への制度改革の要請	<p>生活保護費が年間100億円を超え、一般会計の約17%を扶助費が閉める状態である。そんななか生活保護費の不正受給も散見され、まじめに納税する方々が損をするような世の中を見過ごすことなく、様々な方策による適正化を図る必要がある。</p>